

調査概要

本作業は、下水道管渠の劣化状況を把握するためのものです。

具体的には、道路上のマンホール蓋を開け、調査員がマンホール内に入り、調査機材を設置して動画や写真を撮影し、あるいは目視により管渠およびマンホールの状況を調査します。

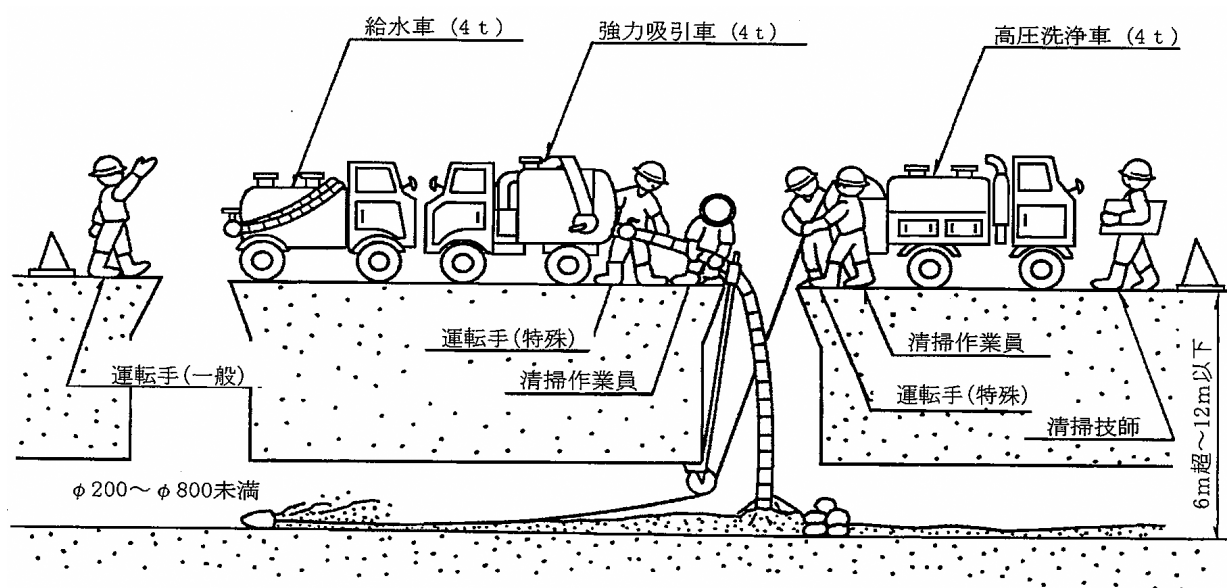
作業中、マンホール周辺には、バリケード、カラーコーンで囲みます。なお、作業場所には、表示板等によって遠方からの車両に知らせ、交通の妨げにならないよう万全の配慮をするとともに歩行者の安全を確保し、迷惑の掛からない様に作業します。

＜作業方法(作業手順)＞

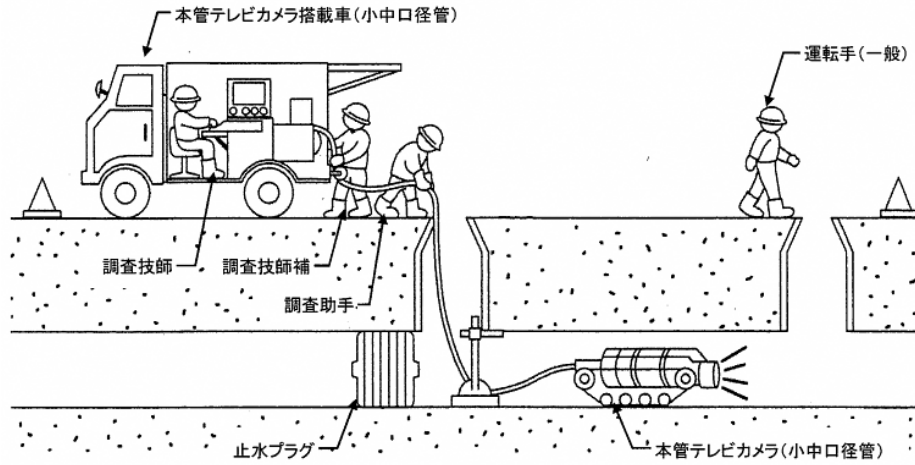
- ① マンホール周辺に路上保安施設を配置し、作業帯を確保する。
- ② 占用の器具を用いてマンホールの蓋を開放する。
- ③ マンホール内の大気の状態を計測し、必要に応じて酸欠防止等の対応を図る。
- ④ マンホール内部および管内を洗浄し、土砂が発生した場合は吸引する。
- ⑤ 安全装備を装着した作業員がマンホール内に入り、調査に必要な機材を搬入して調査を実施。写真撮影、寸法の計測、流水状況等の確認を行う。
- ⑥ 作業員がマンホール内部から退去する。
- ⑦ マンホールの蓋を閉める。
- ⑧ 路上保安施設を撤去し、作業帯を開放する。

これらの作業は1箇所あたり1時間程度を予定しており、1箇所の作業が終われば次の箇所へ随時移動していく。

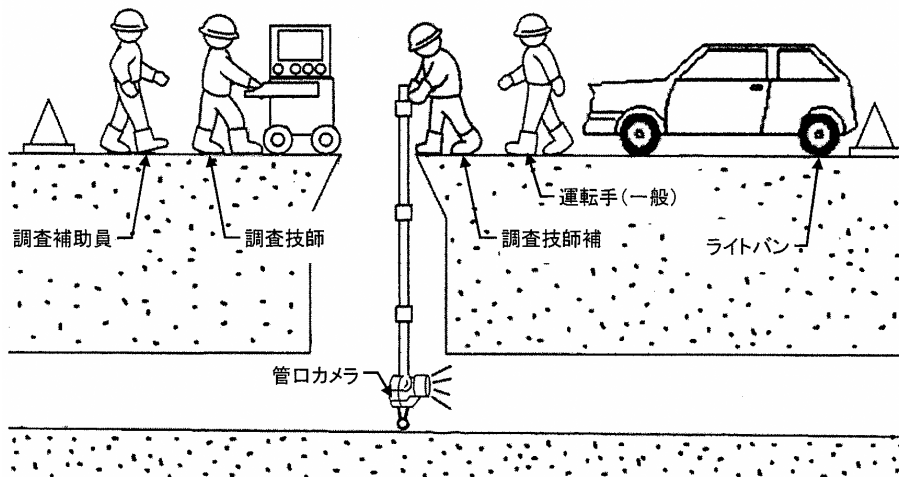
作業イメージ(管内洗浄)



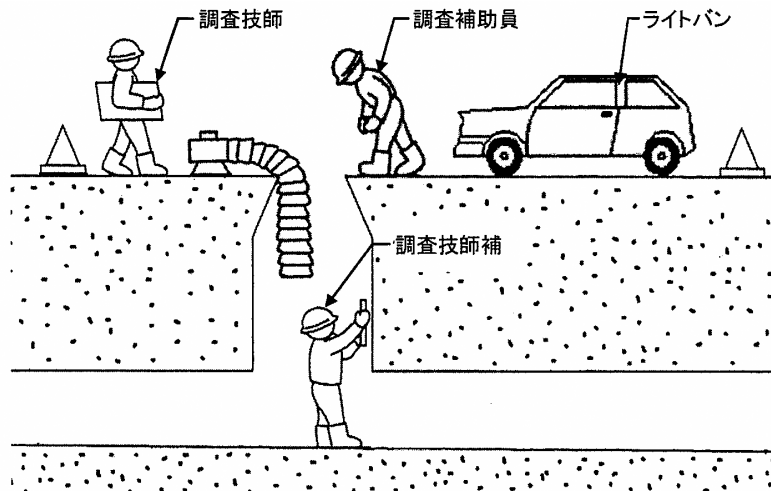
作業イメージ(管内テレビカメラ調査)



作業イメージ(管口カメラ調査)



作業イメージ(マンホール内目視調査)



交通安全管理

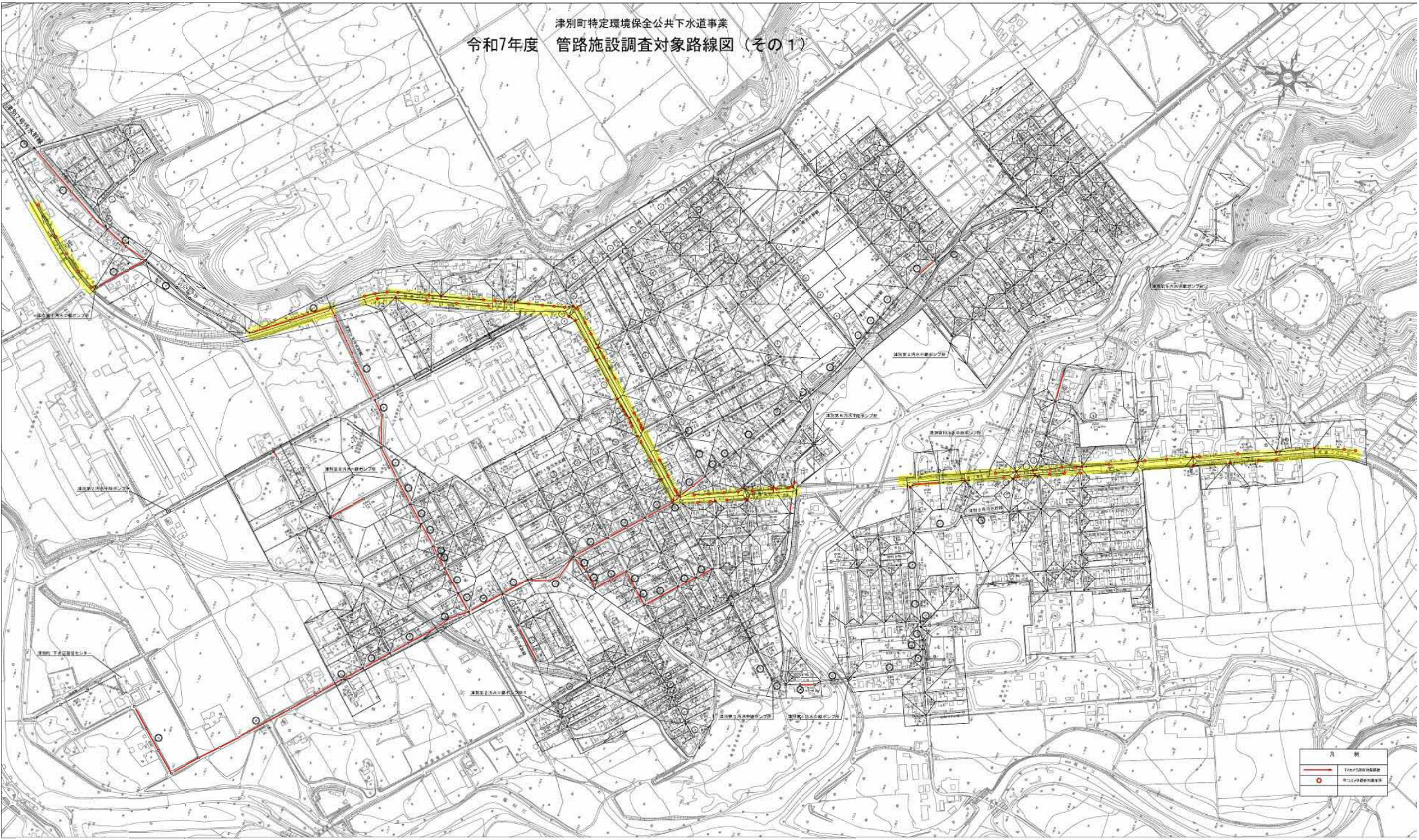
本業務は、車道（接続道を巻き込み部）または歩道上で実施するため、作業に当たっては、道路上の安全を確保します。

これら交通上の安全管理については、原則として以下の方法により実施します。

<交通安全管理上の原則>

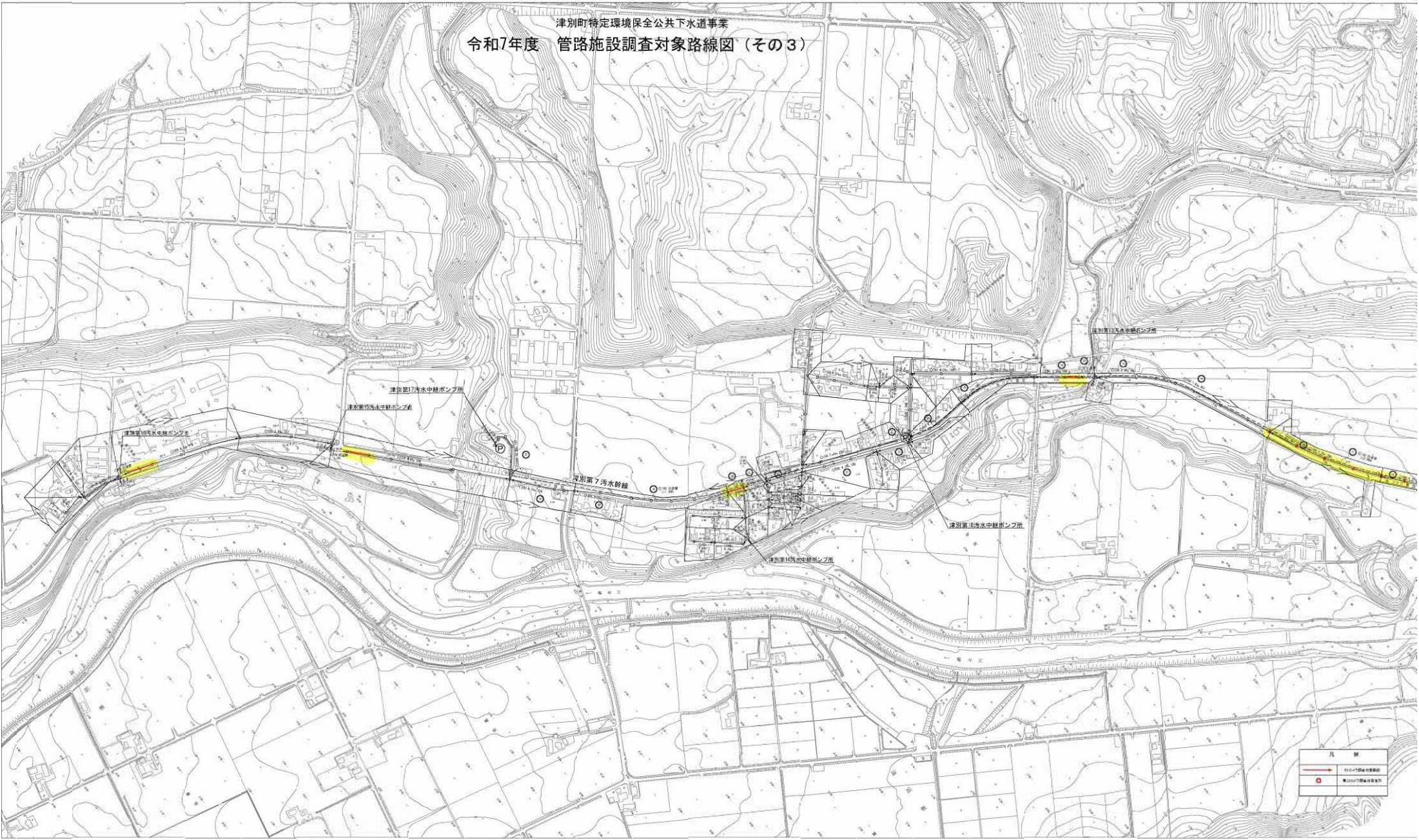
- 1) 作業員の安全を確保するため、調査機材や作業員の周辺にカラーコーン等の安全機材を配置し、車両や歩行者及び作業員の安全を確保する。
- 2) 作業のための占用範囲は必要最小限の部分的なものとし、車両や歩行者の通行を妨げる範囲は最小限にする。
- 3) 調査個所の状況に応じて、安全な通交を確保するための交通誘導員を適正に配置する。
- 4) 車両からの視認が困難となるような大雨や霧が発生した際には作業を中断し、視認性が回復するまで通行の支障とならない安全な場所に待機する。また、降雪時には作業を行わない。

津別町特定環境保全公共下水道事業
令和7年度 管路施設調査対象路線図（その1）



凡 例	
	排水管路施設調査対象路線
	排水管路施設の調査地点

津別町特定環境保全公共下水道事業
令和7年度 管路施設調査対象路線図（その3）



凡 例	
	150mm径調査対象管線
	ポンプ設置地点